

「岩手ようごの会」の実践交流会の報告です

令和元年9月28日（土）に第18回の実践交流会が開催されましたので、私（瀬川）も参加して参りました。その時の様子をご紹介させていただきたいと思います。

今回のテーマは「パソコンの活用 ～執務の充実化を図るために～」でした。

県立宮古恵風支援学校の佐々木恵子先生から、パソコンを活用し日々の事務処理や保健室関係の統計処理等を工夫しながら効果的に行っていることについて話題提供をしていただきました。

和気藹々と楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。皆様も気になるテーマの時には気軽に参加してみてください。なお、参加の際に申込は不要です。

【実践交流会の様子です】



参加者の自己紹介から始まりました



佐々木先生が発表しています



発表の後の情報交換です

【実践交流会を企画運営してくださっている堀籠先生、澤口先生からのメッセージです】

「岩手ようごの会」は平成26年度に養護教諭に関する研修とその発展を目的に岩手県民活動交流センターに団体登録をし、活動を始めてから5年が経過しました。その間、主な活動である実践交流会も18回を数え、ご参加いただいた先生方は延330余名となりました。内容は救急処置、危機管理、定期健康診断、保健室経営、感染症対策、保健教育、保健室登校、引継ぎ・事務処理等養護教諭の職務全般にわたり、話題提供をいただいた先生も30名となりました。これもひとえに県養護教諭部会様の多大なるご支援のおかげと会員一同深甚より感謝申し上げます。

今後も小さな一歩ではありますが新たな時代の学校教育にいきる実践の交流を重ねていきたいと考えています。変わらぬお力添えをお願い申し上げますとともに、気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

岩手ようごの会代表 堀籠 ちづ子

本会事務局では、実践交流会の開催にあたり、皆様宛の「お知らせ」を作成し御部会事務局様からメール配信及びホームページアップをしていただいています。

実践交流会の開催にあたりましては、テーマを職務の実践における基本的で実地的なもの、時宜を捉えたものに設定し、進行計画を運営会員で十分に検討してご参加をお待ちしています。

今日までの継続開催から、参加された方々が実践を交流・共有することによって相互の学びが充実し、仲間から元気をもらえると共に、仕事上の輪と繋がりが広がっていると実感しております。

今後も、皆様からのご意見・ご要望をお伺いしながら、より充実した実践交流会が開催できるよう運営に工夫を重ねて参りたいと思います。

岩手ようごの会事務局 澤口紀子